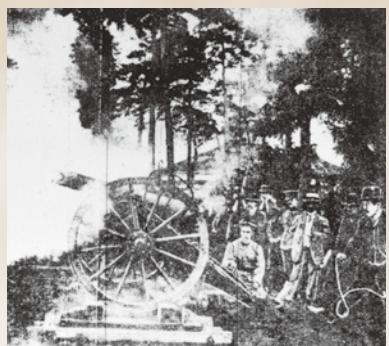


120年の歴史

③

このコーナーでは、宇都宮の120年の歩みを年表と写真で紹介します。

大正8年～昭和2年



●市民に親しまれた「ドン」
明治の終わりごろから市内では、正午を告げる牛砲の「ドン」が鳴り響きました。
軍事費削減の波に押され師団司令部で廃止され、市が寄贈を受けた後は、サイレンが設置される昭和7年まで八幡山で続けられました(下野新聞社提供)。

宇都宮市年表

西暦年	主な出来事
1927 2	昭和 ▽市立八幡山公園を開設
1926 15	▽市制施行30周年記念行事として八幡山で花火大会を開催
1924 12	▽宇都宮尋常高等小学校の高等科男子を高等小学校に移し、宇都宮尋常高等小学校を宇都宮中央尋常小学校と改称する
1922 11	▽最初の鉄筋コンクリート建物(下野新聞社)ができる
1921 10	▽市役所内に職業紹介所を新設
1920 9	▽上町、下町に公設市場を開設
1919 8	▽初めての市営住宅60戸が完成

▲宇都宮市報第1号

はつらつ宮っこ

今、輝いている市民

日々の積み重ねが実った
全国読書感想文 最優秀賞受賞

細谷小学校 小堀陽生さん



昨年12月に発表された、小学生対象の読書感想文コンクール「第39回手のひら文庫賞」で、個人賞の自由図書部門最優秀賞に選ばれた小堀さん。全国から15万6000点余りもの応募があった中、各学年1人という最優秀賞に選ばれた快挙に「うれしかったというより、びっくりした」と受賞時を振り返ります。

感想文の題材に選んだ「ハンナの学校」は、盲目の少女ハンナが、周りの子と同じように学校生活を送りたいという夢を叶える話。「ハンナから頑張れば夢は叶うということを学んだ」と話す小堀さんは、「ぼくもプロのサッカー選手になるという夢を叶えるため、毎日練習を頑張っています」と自身の夢の実現に向け、

座で習いました。それに加え、小堀さんの作文力は、朝早く起きて書くのが習慣になっています」と、2年生から毎日欠かさない日記でも養われています。

「これからも、読書感想文を書いていきたい」と話す小堀さん。日々鍛えられる文章力と、本から吸収した想像力を武器に、成長を続ける姿に注目です。